

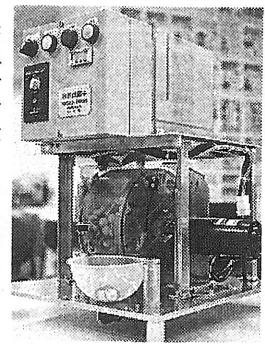
# 設定数で部品自動停止

## 増田鉄工所 車工場向け装置

プレス用金型メーカーの増田鉄工所(富士市、増田弘社長)は部品などの個数を管理する「カウントマイスター」を開発した。センサーで個数を正確に数えることで、自動車のドアなどに部品を取り付ける際の作業ミスを防ぐ。初年度に100台の販売を目指す。福引などで使われる抽選器の構造を応用して作った。円盤状の容器の内部に水車のような羽根を

取り付け、必要な部品を1個ずつ送り出す。センサーの前を部品が設定し

部品の送り出し部分と受け皿にセンサーをつけた  
再開する。



た回数通過すると、それ以降の送出を停止。受け皿の底にもセンサーを設け、皿の中が空になったと検知すれば送り出しを

価格は樹脂クリップ用の小型機で約40万円。ドアなど大型部品にクリップを取り付ける際に発生する作業ミスなどを防ぐ。ビスやねじなど多くの小型部品でも適用可能。5月に横浜市で開催される「人とくるまのテクノロジー展」にも出展してPRする。